

免許申請書（第一面）

どちらかに○をつけて下さい

日付等は「和暦」で記入してください。

私は、**二級建築士** の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。
木造建築士
 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。
 令和〇年12月〇日

必ず署名してください。
 ゴム印・印字等不可。

鹿児島県指定登録機関
 公益社団法人鹿児島県建築士会 殿

氏名 鹿児島 太郎
 (自署)

ふりがな	かごしま たろう 鹿児島 太郎	生年月日	平成 〇〇年△月△〇日生	写真
本籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇	性別	男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>	1 縦4.5cm、横3.5cmの写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入してのりではり付けてください。 2 貼付した写真は免許証に転写されます。 注意 *申請者本人のみ *6ヶ月以内に撮影したもの *正面、無帽、無背景
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇-〇 △△マンション〇〇号 電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			
試験	二級建築士 <input checked="" type="checkbox"/> 試験に合格した年 令和〇年 木造建築士 <input type="checkbox"/>			
登録申請区分	合格通知書日付	令和〇年12月△日	合格番号	8G-〇〇〇〇△号
登録申請区分	1 学歴又は、学歴+実務 <input checked="" type="checkbox"/> 2 実務 <input type="checkbox"/> 3 法第四条第五項 <input type="checkbox"/>			
学歴+実務により記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業(修了)年月	建築実務経験期間の合計0年 ※学歴のみの場合は記入不要
	〇〇大学	〇〇学部〇〇学科	H28年 4月入学 R2年 3月卒業(修了)	
			年 月 入学 年 月 卒業(修了)	
申請する実務により記入	建築実務経験期間の合計			
	年 月			
より申請する法第四条第五項に記入	免許名称	免許者名	免許の年月日	資格認定書の年月日
			年 月 日	年 月 日

どちらかに○をつけて下さい

該当箇所にチェックを入れ、必要事項を記入して下さい。

欠 格 事 由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑_____ あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日	ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/>
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑_____ あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日	ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/>
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 あるときは、その日	ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/>
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 年 月 日から 年 月 日まで
	5 精神の機能の障害により建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/>
※經由庁(機関)載欄		※登録機関載欄

該当項目にチェックを入れてください。

- 備考1 数字は算用数字を用いてください。
2 □のある欄は、該当する□の中にレ印を付けてください。
3 ※欄は記入しないでください。
4 写真は、申請前6月以内に、脱帽し、正面から上半身を写した無背景の縦4.5センチメートル、横3.5センチメートルのものとし、その裏面に氏名及び撮影年月日を記入してください。

該当項目にチェックを入れて下さい。
令和元年以前の試験合格者は記入不要。

以下の事項は、円滑な登録実施のために必要となりますので、記入についてご協力ください。

告示等に基づく学歴等区分 (登録申請時)	<input checked="" type="checkbox"/> 50 大学・短大・高専卒 40単位	<input type="checkbox"/> 51 職能大(短大)卒 40単位	<input type="checkbox"/> 52 大学・短大・高専・職能大等卒 30単位	<input type="checkbox"/> 53 大学・短大・高専・職能大等卒 20単位
	<input type="checkbox"/> 54 高校・中学卒 20単位	<input type="checkbox"/> 55 高校・中学卒 15単位	<input type="checkbox"/> 56 専修(高校卒) 2年以上 40単位	<input type="checkbox"/> 57 専修(高校卒) 2年以上 30単位
	<input type="checkbox"/> 58 専修(高校卒) 1年以上 20単位	<input type="checkbox"/> 59 専修・職訓校(中学卒) 2年以上 15単位	<input type="checkbox"/> 60 専修・職訓校(中学卒) 1年以上 10単位	<input type="checkbox"/> 61 職訓校(高校卒) 3年以上 30単位
	<input type="checkbox"/> 62 職訓校(高校卒) 1年以上 20単位	<input type="checkbox"/> 63 職訓校(中学卒) 3年以上 20単位	<input type="checkbox"/> 64 実務経験	<input type="checkbox"/> 65 その他 (建築設備士等)

振
替
払
込
受
付
証
明
書

貼
付
欄

「申請手数料振替振込請求書兼受領書」(原本)を貼りつけてください。

- ・令和元年以前に建築士試験を合格した方・・・19,300円
- ・令和2年以降に建築士試験を合格した方・・・24,400円

（表面）

二 級 建 築 士 免 許 証 明 書

氏名 鹿児島 太郎 (和暦) 平成〇年△月△〇日 生

二級建築士 登録番号 第 号

登録年月日 (和暦) 年 月 日

建築士法（昭和25年法律第202号）により
 登録番号と登録年月日欄は、
 空欄のままご提出下さい。

とを証明する
 令和〇〇年〇〇月〇〇日

会長 ○○ ○○ 印

公益社団法人鹿児島県建築士会は建築士法第10条の20第1項の規定により鹿児島県知事が指定した指定登録機関である

写真

1.縦4.5cm、横3.5cmの写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入して貼付けて下さい。

2.貼付けした写真は免許証に転写されます。

※申請者本人のみ

※6か月以内に撮影したもの

※正面、無帽、無背景

（裏面）

講習受講履歴		
講習の種別	修了年月日	修了証番号
新規申請の方は、記入不要		

備考 用紙の大きさは、縦5.4センチメートル、横8.5センチメートルとする。

二級・木造建築士住所等の届出書

令和〇年 12月 □日

ふりがな 氏名	かごしま たろう 鹿児島 太郎	生年月日	平成〇〇年△月△〇日	性別	男
本籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇				
住所	郵便番号〇〇〇-〇〇〇〇 鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇-〇 △△マンション 〇〇号 電話番号 099-△△△-△△△△※ ※携帯電話でもOK				
業務の種別	都道府県	登録 年月日	年 月 日		
	第 号				
業務の種別	1 建築設計（2及び3を除く。） 2 構造設計 3 設備設計 4 積算 5 工事監理又は工事の指導監督 6 現場管理 7 技能労務 8 調査又は鑑定 9 手続代理 10 敷地選定等の企画 11 研究又は教育 12 行政 13 その他				
勤務先	名称	〇〇設計 株式会社 開設者〇〇 〇〇 ※建築士事務所に勤務する方のみ開設者名を記入			
	所在地	郵便番号 892-△△△△ 鹿児島県 鹿児島市 〇〇町△△丁目△△ 〇〇ビル2階			

該当箇所を○で囲んで下さい。

- 備考1 業務の種別及び勤務先の欄は、建築に関する業務に従事しているときに記入してください。
- 2 業務の種別の欄は、該当する数字を○で囲んでください。2種以上の業務に従事しているときは、主に従事しているものを○で囲んでください。
- 3 建築士事務所に勤務しているときは、その事務所の開設者名を勤務先の名称の欄に併記してください。
- 4 用紙の大きさは、郵便はがきの大きさとする。

A4サイズでも大丈夫です。

実務経歴書

どちらかに○をつけて下さい

歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、二級建築士 の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

必ず署名してください。
ゴム印・印字等不可。

令和〇年12月〇日

氏名 鹿児島 太郎
(自署)

鹿児島県指定登録機関

公益社団法人鹿児島県建築士会 殿

入社から免許申請時までの在職期間

勤務先等


勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
株式会社〇〇建設事務所 〇〇部〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地	H29年 4月 ～ R2年 12月	3年8月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月～年月	年月数		
H30年 8月～H30年 11月	0年 4月	—	建築物の工事監理に関する業務
H30年12月～ R2年7月	1年 8月	技師	建築物の設計に関する業務
年 月～ 年 月	年 月		

・地位職名がない場合は「—」を記入。
・「建築士資格に係る実務経験の対象実務の例示リスト」内における対象実務の例示①～⑭を選択し記入。

建築実務を行った期間とその年月数を和暦で記入	建築実務の詳細	建築実務経験期間の合計	
		年	月

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	S邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇	H30年 8月 ～ H30年 11月	100%	0年 4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔2C-01〕 専用住宅(木造2階建て、延べ面積140㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇小学校	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇-〇	H30年 12月 ～ R2年 3月	100%	1年 4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔1C-01〕 小学校(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本・実施設計業務において、基本設計にて平面、立面、断面計画等の作成補助を実施設計にて一般図(平面、立面、断面)の作成補助を担当した。					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇病院	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇-〇	R2年 4月 ～ R2年 7月	100%	年 4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔1C-02〕 病院(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の基本設計業務において、関係法令のチェックや各種インフラ整理、必要諸室・規模の検討等の設計と条件の整理を担当した。					

当該建築業務を行った期間を和暦で記入

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	物件の名称を具体的に記入。物件名を記入できない場合はイニシャル等を用いて記入。	所在地が明かせない場合は「—」を記入。	年 月 ～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	[ 「建築士資格に係る業務経験の対象実務の例示コード表」に対応したコード番号を記入。				
	[実務経験の対象となる業務内容を、用途・構造・規模等の作業内容を具体的に記入。]				
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月		
			勤務先が複数ある場合は「実務経歴書」を勤務先毎作成して下さい。		
	実務経験の対象となる業務の内容()				
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月		
			年 月 ～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	()				
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月		
			年 月 ～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	()				

※経由庁(機関)記載欄

※登録機関記載欄

- 備考1 この実務経歴書は勤務先(自営業を含む。)ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について、免許の登録又は受験資格として必要な業務の内容を年代順に記入してください。
- 記載内容について、記入の不備や疑義が生じた場合には、実務経歴書の再提出や追加書類の提出を求めることになるため、免許の登録が遅れる場合や受験資格の確認に時間を要する場合があります。
 - 実務経歴書に虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置の対象となる場合や免許の登録又は受験資格が認められない場合があります。
 - ※欄は記入しないでください。

実務経歴証明書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

鹿児島県指定登録機関
公益社団法人鹿児島県建築士会 殿

①「証明者」

1. 申請者が所属する建築士事務所の開設者→署名または記名・押印
 2. 申請者が所属する建築士事務所の管理建築士→署名
 3. 申請者が所属する建築士事務所の所属建築士→署名
- 署名の場合は押印不要。「電話番号」へ証明者本人の署名か確認連絡します。※押印は「代表者印」

株式会社〇〇建築設計事務所
代表取締役社長

①証明者 建築 士郎 

〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

②電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
担当(株)〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 申請者が所属する建築士事務所の開設者

②「電話番号」

お問い合わせをすることがありますので、日中連絡可能な電話番号を記入して下さい。

どちらかに○をつけて下さい

二級建築士

木造建築士

下記の者が申請した 免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 鹿児島 太郎
2. 建築実務経験
建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月
建築実務の内容：

- ・専用住宅(木造2階建て、延べ面積140㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当。
- ・小学校(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本・実施設計の補助を担当。
- ・病院(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の設計と条件の整理を担当。

勤務先が複数ある場合は、それぞれの勤務先毎に実務経歴証明書を作成して下さい。

実務経歴書「実務経験の対象となる業務内容」を簡潔に記入する。

- 備考1 この実務経歴証明書は、免許申請者又は受験申込者が作成した実務経歴書毎に作成してください。
- 2 証明者（使用者その他これに準ずる者）は、実務経歴書に記載された内容が事実相違ないことを確認した上で、証明してください。
 - 3 証明者が虚偽の証明を行った場合、建築士法上の処分や告発の対象となる場合があります。

実務経歴証明書

【記入例】※新規申請書類
～建築設計事務所以外の法人の場合～

令和〇〇年〇〇月〇〇日

鹿児島県指定登録機関
公益社団法人鹿児島県建築士会 殿

①「証明者」

- 1. 申請者が所属する法人の代表者
 - 2. 申請者が所属する法人の「代表権を持つ役員」
- 署名または記名・押印（代表者印）
署名の場合は押印不要→「電話番号」へ証明者本人の署名か確認連絡
します。

株式会社〇〇建設
代表取締役社長

①証明者 登録 太郎 

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

②電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
担当(株)〇〇建設 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

②「電話番号」

お問い合わせをすることがありますので、日中連絡可能な電話番号を記入して下さい。

免許申請者との関係 申請者が所属する法人の代表者

どちらかに○をつけて下さい

二級建築士
木造建築士

下記の者が申請した 免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のない
ことを証明します。

記

- 1. 免許申請者氏名 鹿児島 太郎
- 2. 建築実務経験
建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月
建築実務の内容：

・確認審査業務において、確認申請書、その他必要図書の構造審査の補助を担当した。
(〇件)

勤務先が複数ある場合は、それぞれの勤務先毎に実務経歴証明書を作成して下さい。

実務経歴書「実務経験の対象となる業務内容」を簡潔に記入する。

- 備考1 この実務経歴証明書は、免許申請者又は受験申込者が作成した実務経歴書毎に作成してください。
- 2 証明者（使用者その他これに準ずる者）は、実務経歴書に記載された内容が事実相違ないことを確認した上で、証明してください。
 - 3 証明者が虚偽の証明を行った場合、建築士法上の処分や告発の対象となる場合があります。

【記入例】※新規申請書類
～行政・独立合成法人の場合～

実務経歴証明書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

鹿児島県指定登録機関
公益社団法人鹿児島県建築士会 殿

①「証明者」

申請者が所属する行政・独立行政法人の部署等の公印を有する所属長の署名または記名・押印。（押印は所属長の公印に限る。）
署名の場合は押印不要→「電話番号」へ証明者本人の署名か確認連絡します。

〇〇県〇〇市〇〇部長

①証明者 登録 太郎 印

②「電話番号」

お問い合わせをすることがありますので、日中連絡可能な電話番号を記入して下さい。

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

②電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
担当 〇〇県〇〇市〇〇部〇〇課 免許一郎
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 申請者が所属する法人の代表者

どちらかに○をつけて下さい

二級建築士

下記の者が申請した

木造建築士

免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のない

ことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 鹿児島 太郎

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2年 0月

建築実務の内容：

- 〇〇市における木造住宅耐震改修促進事業において、木造住宅の耐震改修費用の補助申請に関する関係書類の審査の補助、及び完了報告書の審査の補助を担当。（〇件）
- 〇〇市において、特定空き家等の可能性が高い建築物について、現地調査で老朽度や危険度等のチェック等の業務を担当。（〇件）

勤務先が複数ある場合は、それぞれの勤務先毎に実務経歴証明書を作成して下さい。

実務経歴書「実務経験の対象となる業務内容」を簡潔に記入する。

備考1 この実務経歴証明書は、免許申請者又は受験申込者が作成した実務経歴書毎に作成してください。

2 証明者（使用者その他これに準ずる者）は、実務経歴書に記載された内容が事実相違ないことを確認した上で、証明してください。

3 証明者が虚偽の証明を行った場合、建築士法上の処分や告発の対象となる場合があります。

実務経歴証明書

【記入例】※新規申請書類
～教育・研究機関の場合～

令和〇〇年〇〇月〇〇日

鹿児島県指定登録機関
公益社団法人鹿児島県建築士会 殿

①「証明者」

申請者が所属する教育機関の学長（校長）または学部長・研究科長の署名または記名・押印。（押印は所属長の公印または役職印に限る。）署名の場合は押印不要→「電話番号」へ証明者本人の署名か確認連絡します。

〇〇大学大学院〇〇研究科長

①証明者 登録 太郎 印

②「電話番号」

お問い合わせをすることがありますので、日中連絡可能な電話番号を記入して下さい。

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

②電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
担当 〇〇大学大学院〇〇研究科 免許一郎
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 申請者が所属する法人の代表者

どちらかに○をつけて下さい

二級建築士

下記の者が申請した 免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のない

木造建築士

ことを証明します。

記

勤務先が複数ある場合は、それぞれの勤務先毎に実務経歴証明書を作成して下さい。

1. 免許申請者氏名 鹿児島 太郎

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

建築実務の内容：

- ・建築物に関する調査又は評価に関する研究について、△△市内の歴史的建築物の実測調査及び図面化を行い、その結果をもとに第一著者として論文を執筆した。
- ・建築物の設計に関する研究について、△△ダンパーを連層配置した構想建築物の地震応答特性を行い、その結果をもとに共著者として論文執筆に携わった。

実務経歴書「実務経験の対象となる業務内容」を簡潔に記入する。

備考1 この実務経歴証明書は、免許申請者又は受験申込者が作成した実務経歴書毎に作成してください。

2 証明者（使用者その他これに準ずる者）は、実務経歴書に記載された内容が事実相違ないことを確認した上で、証明してください。

3 証明者が虚偽の証明を行った場合、建築士法上の処分や告発の対象となる場合があります。

実務経歴書

【記入例】※新規申請書類
 ～会社が倒産している場合～
 会社が倒産している場合でも、実務経歴書、実務経歴証明書の提出は必須です。

どちらかに○をつけて下さい

経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、
 に記入してください。なお、記載内容の記入
 提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の
 登録が認められない場合もあります。

私は、二級建築士 の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者が当該書類の内容が
木造建築士
 事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

必ず署名してください。
 ゴム印・印字等不可。

令和○年12月○日

氏名 鹿児島 太郎
 (自 署)

鹿児島県指定登録機関

公益社団法人鹿児島県建築士会 殿

入社から免許申請時までの在職期間

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
株式会社〇〇建設事務所 〇〇部〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地	H29年 4月 ～ R2年 12月	3年8月

在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月～年月	年月数		
H30年 8月～H30年 11月	0年 4月	—	建築物の工事監理に関する業務
H30年12月～ R2年7月	1年 8月	技師	建築物の設計に関する業務
年 月～ 年 月	年 月		

・地位職名がない場合は「—」を記入。
 ・「建築士資格に係る実務経験の対象実務の例示リスト」内における対象実務の例示①～⑭を選択し記入。

建築実務を行った期間とその年月数を和暦で記入

建築実務の詳細


建築実務経験期間の合計

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	S邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇	H30年 8月 ～ H30年 11月	100%	0年 4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔2C-01〕 専用住宅(木造2階建て、延べ面積140㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。					

(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇小学校	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇-〇	H30年 12月 ～ R2年 3月	100%	1年 4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔1C-01〕 小学校(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本・実施設計業務において、基本設計にて平面、立面、断面計画等の作成補助を実施設計にて一般図(平面、立面、断面)の作成補助を担当した。					

(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇病院	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇-〇	R2年 4月 ～ R2年 7月	100%	年 4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔1C-02〕 病院(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の基本設計業務において、関係法令のチェックや各種インフラ整理、必要諸室・規模の検討等の設計と条件の整理を担当した。					

当該建築業務を行った期間を和暦で記入

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
物件の名称を具体的に記入。物件名を記入できない場合はイニシャル等を用いて記入。		所在地が明かせない場合は「—」を記入。	年 月 ～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[ 「建築士資格に係る業務経験の対象実務の例示コード表」に対応したコード番号を記入。					
[実務経験の対象となる業務内容を、用途・構造・規模等の作業内容を具体的に記入。]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件	建築実務経験期間		
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月		
			年 月 ～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月		
			年 月 ～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
[]					

勤務先が複数ある場合は「実務経歴書」を勤務先毎作成して下さい。

実務経歴書2枚目下余白部分に会社が倒産した旨を記入する。

(例) 上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。

※倒産した日付が不明な場合は、日付記入不要。

※経由庁(機関)記載欄

※登録機関記載欄

て、免許の登録又は受験資格として必要な業務の内容を年代順に記入してください。

- 記載内容について、記入の不備や疑義が生じた場合には、実務経歴書の再提出や追加書類の提出を求められることになるため、免許の登録が遅れる場合や受験資格の確認に時間を要する場合があります。
- 実務経歴書に虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置の対象となる場合や免許の登録又は受験資格が認められない場合があります。
- ※欄は記入しないでください。

実務経歴証明書

【記入例】※新規申請書類
～会社が倒産している場合～
会社が倒産している場合でも、実務経歴書、実務経歴証明書の提出は必須です。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

鹿児島県指定登録機関
公益社団法人鹿児島県建築士会 殿

申請日記入

- ①勤務先の名称を記入。
証明者の署名・押印不要。
- ②③勤務先(倒産前)所在地、電話番号を記入。
(所在地・電話番号が不明の場合、無記入でも可。
- ④記入不要。

株式会社〇〇建築設計事務所

①証明者 印

②住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

③電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

④免許申請者との関係

どちらかに○をつけて下さい

二級建築士

木造建築士

下記の者が申請した 免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

勤務先が複数ある場合は、それぞれの勤務先毎に実務経歴証明書を作成して下さい。

1. 免許申請者氏名 鹿児島 太郎

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

建築実務の内容：

- ・専用住宅(木造2階建て、延べ面積140㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当。
- ・小学校(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本・実施設計の補助を担当。
- ・病院(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の設計と条件の整理を担当。

実務経歴書「実務経験の対象となる業務内容」を簡潔に記入する。

備考1 この実務経歴証明書は、免許申請者又は受験申込者が作成した実務経歴書毎に作成してください。

2 証明者(使用者その他これに準ずる者)は、実務経歴書に記載された内容が事実相違ないことを確認した上で、証明してください。

3 証明者が虚偽の証明を行った場合、建築士法上の処分や告発の対象となる場合があります。

「実務経歴証明書」下余白部分に会社が倒産した旨を記入する。
(例) 上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。
※倒産した日付が不明な場合は、日付記入不要。